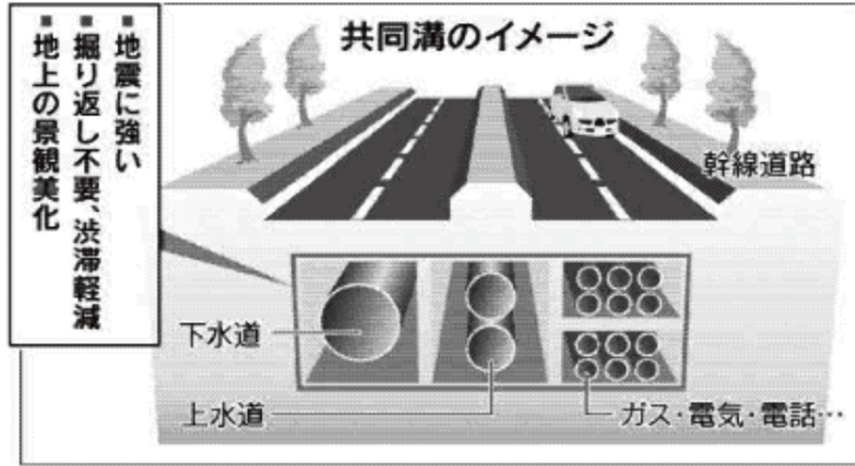


電線・水道管固定にステンレス

共同溝用バンド長持ち

ステンレス加工のコマックス（香川県宇多津町）は電気や水道などライフラインを地中にまとめて収容する共同溝向け管固定バンドを開発し、販路を開拓する。劣化に強く従来の鉄製より維持費が低減できる。独自の加工技術で材料の無駄も最小化した。まず大阪市の御堂筋共同溝に納入した。災害に強い共同溝は今後、全国で240ヶ所が見込めるといい、同社はニーズを取り込む。

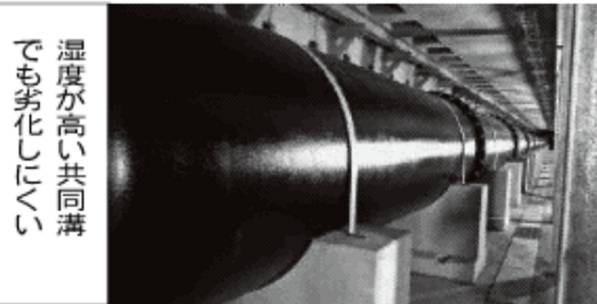


■地震に強い
■掘り返し不要、渋滞軽減
■地上の景観美化

コマックス

まず大阪市に納入

共同溝はガス、電気、水道などを一括して埋設する設備で、地震でも地上の景観を維持する。



湿度が高い共同溝でも劣化しにくい

上の構造物ほどの影響は受けにくく、ライフラインの安定供給に有効な手段の一つだ。

コマックスが今回納入したのは上水道管を固定するステンレス製の「管固定SUSバンド」。大阪市の幹線道路である御堂筋の下に共同溝など約4・3ヶ所に、横に寝かした円筒形の水道管の外周に沿うように固定する。

また、裁断と同一ライニングでは技術的に難しい厚さ4ヶ以上のステンレスの穴開けで、手間かかる油を使わず加工するノ

▼共同溝 ガス、電気、水道、光ファイバーなどライフラインをまとめて道路下などに収容する設備。鉄筋コンクリート製が一般的で、管理作業をする空間も確保され、道路を掘り返さず中の設備をメンテナンスできる。街の美化や道路交通を円滑にするメリットがある。

バンド1本は厚さ6ヶ、ウハウも持っており、納期を大幅短縮できる。

幅7・5ヶ、長さ3ヶ41ヶ。工事が完成する今夏までに計5000本（60ヶ）が使われる予定だ。

これまで一般的だった鉄製バンドでは時間とともに朽ち、付け替える維持管理コストに難点があった。管理する大阪市も「共同溝は地下水の影響で湿度が高いため、腐食しないステンレス製の導入により、コスト低減が見込める」と話す。

同社はステンレス加工で独自技術を持つ。今回の固定バンドでも一定サイズの板材からではなく、自社で必要サイズのコイル材から加工するた

め材料ロスが少ない。また、裁断と同一ライニングでは技術的に難しい厚さ4ヶ以上のステンレスの穴開けで、手間かかる油を使わず加工するノ

中。維持管理しやすく災害にも強いことから増えている。このほか自治体管理などもあり、コマックスは新規に加え、メンテナンス需要も見込む。

コマックスはステンレス加工品で建築、太陽光、トンネル耐火、水門などの販路を持つ。主力は太陽光パネル架台だが今後はインフラの長寿命化に貢献できる共同溝などにシフトする方針。同社は社員42人、2015年3月期の売上高は21億円。

また、裁断と同一ライニングでは技術的に難しい厚さ4ヶ以上のステンレスの穴開けで、手間かかる油を使わず加工するノ

また、裁断と同一ライニングでは技術的に難しい厚さ4ヶ以上のステンレスの穴開けで、手間かかる油を使わず加工するノ